

「データヘルス計画」調査結果

全国健康保険協会 東京支部

I 基礎情報

	被保険者	被扶養者
人数	2,407,734	1,509,842
再掲(人)(40~74歳)	1,330,102	427,620
平均年齢	43.69	27.24

事業所数	251,722
保険料率(%)	9.97

II データヘルス計画について

実施形態	自前実施
------	------

実施事業

事業名	対象者	事業内容	評価期間	新規・既存
慢性腎臓病(CKD)の重症化予防による透析導入の回避・遅延	慢性腎臓病(CKD)の疑いがある方	健診結果から慢性腎臓病(CKD)の疑いのある方を抽出し、医療機関の早期受診を促す勧奨文書を送付し、CKD重症化による透析導入の回避、又は遅延を図る	3年	既存

医療費分析を行う際に使用したデータについて	医療費データ ・ 健診データ
-----------------------	----------------

医療費分析の実施形態	自前実施
------------	------

医療費分析の実施方法	医療費データと健診データを突合して課題抽出
	特定の疾病を絞り込んだ分析

事業主との連携内容及び具体的な取組み

連携内容	具体的な取組み
禁煙・分煙に対する職場の環境整備	喫煙者の多い職場へ「職場の健康づくりのご提案」として取組み調査アンケートを実施
健診データ・医療費情報の提供	「事業所健康度診断カルテ」を配付し、どのようなデータ提供を期待しているか、事業所へアンケート調査
特定保健指導の個別・集団指導に対する協力	特定保健指導の実施日程を設定の際、事業所の希望に応じて個別に調整・出張指導の計画

個人情報の取り扱い	情報提供していない
-----------	-----------

データヘルス計画を策定する上での課題及び対応

課題	対応
①協会けんぽ東京支部加入者については、地域的な特徴がなく、課題の抽出が難しい	①割合は平均的でも人数のボリュームが大きいいため、かかる医療費の大きさから優先順位をつけ、計画をたてることとした
②データ分析するためのPC等ハードウェアの性能不足(全レセデータの詳細分析が支部では出来ない)	②現状で活用可能なデータ(本部から定期的に提供されているデータ)に限定した分析